

平成29年の議員派遣の総決算。全国の事例を研究し市政に反映しました

Oka-Biz(オカビズ)で商業活性化：岡崎市

愛知県岡崎市では、市と商工会議所が連携して、主に売上げの減少に悩む中小企業からの相談を受け、業績向上を支援するためのサポート機構「Oka-Biz(オカビズ)」を運営。たくさんの事業主から、高い評価を得ています。

Oカビズの特徴は、経営診断からホームページの構成、商品開発などにいたるあらゆる面でのアドバイス、無料で受けられるところ。松戸市での同様の取り組みと比較して、多彩な相談窓口をそろえて、経営者の信頼を得ています。



地域ぐるみで創る防災と憩いの場：大阪府

大阪の歴史は治水の歴史と言ってもいいほど、水害の危険につねにさらされてきました。大阪府では、水都大阪再生事業の一環である木津川遊歩道計画を進めるにあたって、防災機能はもとより、市民の憩いの場としても親しまれる場所として整備するために、市民ワークショップを開催。そこで決定した整備要件を踏まえて、民間事業者によるコンペを実施して設計・施工された空間が「トコトコダンダン」。まさに市民が創った美しい水辺空間です。



多くの市民が安全や暮らしを語る：大東市

人口およそ12万3千人の大東市では、暮らしや行政にたいする市民の思いや願いを理解し、市と市民の信頼関係をよりよく築くための取り組みとして、「全世代地域市民会議」を発足しました。松戸市では、長い間続いていた市政協力員制度が廃止され、今後の市民と行政のパートナーシップのあり方が問われています。中学校区で市域を分けし、各区が共助の気持ちをもって自立的な地域運営に向かおうとする取り組みに、学ぶ点が多くありました。



徘徊高齢者の安全確保のために：和泉市

高齢者の徘徊は、本市でも年ごとに増加。本人はもちろん、ご家族にとっても心配はつきません。松戸市でも、GPS 端末を利用した居場所確認のための補助事業を実施していますが、利用者が伸び悩んでいます。和泉市では、靴にも取り付けが可能な小型端末を採用する同様施策をH27年度からスタート。利用者の増につながっていることは、本市においても研究の余地ありと思われます。



HPもご覧ください [みのわ信矢](#)
連絡先 松戸市金ヶ作418-94



みのわ^{しんや}信矢 プロフィール

- 昭和42年 松戸市常盤平生まれ
- 昭和55年 松戸市立常盤平第一小学校 卒業
- 昭和58年 青山学院 中等部 卒業
- 昭和61年 青山学院 高等部 卒業
- 最終学歴 青山学院大学 経営学部 卒業

市議会議員としての主な経歴

- 松戸市予算審査特別委員会副委員長
- 松戸市決算審査特別委員会副委員長
- 松戸市立病院建設検討特別委員
- 教育経済常任委員長
- 都市整備常任委員長

その他の経歴

- ◇中央学院大学 法学部講師(地方自治論)
- ◇介護事業所 取締役
- ◇NPO法人地域政策研究所 理事
- ◇公益社団法人 松戸青年会議所 常任理事
- ◇松戸市子ども会常盤平地区 会長 など

趣味

- ◆楽器演奏(エレキギター)、読書、映画鑑賞
- ◆学生時代はバスケットボール部